

令和2年の救急出動について

令和2年の救急出動件数は**472件**（不搬送51件）、搬送人員は423人でした。

区分	計	救急事故種別					管外搬送	
		急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	その他		
出動件数	472	294	77	72	15	14	245	
搬送人員	423	257	71	72	16	7	248	
傷病程度	死亡	14	13	0	0	1	0	4
	重症	95	46	22	25	1	1	75
	中等症	183	110	28	38	3	4	117
	軽症	131	88	21	9	11	2	52
	その他	0	0	0	0	0	0	0
備考	・令和元年の出動件数は581件							

令和2年中の夕張市における救急出動件数は472件（対前年比109件減）、搬送人員は423人（対前年比85人減）、となりました。

救急搬送人員で、最も多かった事故種別は急病257人（60.7%）、次いで一般負傷71人（16.7%）でした。

傷病程度別（※1）で見ると、軽症131人（30.9%）、中等症183人（43.2%）、重症95人（22.4%）、死亡14人（3.3%）となっており、前年と比較すると重症が増加し軽症、中等症、死亡が減少しました。救急出動件数の半数は管外へ搬送されています。

病気やけがで救急車を要請するか判断に迷った場合は消防署に電話してください。

引き続き救急車の適正利用について、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

（※1）傷病程度

死亡：初診時において、死亡が確認されたもの。

重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症：傷病の程度が重症または軽症以外のもの。

軽症：傷病の程度が入院加療を必要としないもの。